

## 遠志エキス製剤(物忘れに効く?)

### 1) 遠志エキス製剤

2015年に厚生労働省は「**中年期以降の物忘れ改善**」薬として「遠志エキス」製剤を**第3類医薬品**の一般用医薬品として認可しました。第3類医薬品といえば、ビタミン剤や酸化マグネシウム製剤を中心とした**リスクの低い安全性の高い医薬品**の位置付けになります。

遠志製剤の主な製品には下記のようなものがあります。用法はみな1日3回(食前又は食間)です。

商品名	販売会社	1日遠志エキス量	抽出前遠志量	1日量(剤型)
アレデル顆粒	クラシエ	537mg	3g	3包(4.5g)
遠志の恵み	エーザイ	536mg	3g	3錠
キオグッド顆粒	ロート製薬	1300mg	3g	3包(3g)
メモリーケア	大正製薬	1350mg	3g	6錠
ワスノン	小林製薬	750mg	3g	6錠

ところで、これら製品の“**してはいけないこと**”(医療用医薬品の**禁忌**に相当する)には「**認知症の診断を受けた人や認知症の疑いのある人には服用しないでください**」との記載があります。

つまり遠志エキス製剤は**加齢と共に発生する単なる物忘れには有効**ですが、認知症レベルの物忘れには効果がないというわけです。

加齢による物忘れは第三者がヒントを与えようと思えば思い出すレベルであり、認知症の物忘れは記憶自体が欠落して決して思い出せないタイプとされていますから、遠志エキスは前者の段階での**思い出す時間を短縮**してくれる薬だと解釈できます。

### 2) アレデル顆粒での検証

私の先輩薬剤師が遠志エキスを3カ月ほど服用していると効果が実感できたと言います。私もお年頃なので早速**アレデル顆粒**で試してみました。1ヶ月半ほど服用してみましたが、特になるほどというような実感は感じられませんでした。ちなみに知り合いの病院薬剤部長との話の中で画期的な効果があれば教えてと言われていましたが無かったので報告もしませんでした。

添付文書を見ると『1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って**医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください**』とあります。

以前、和漢診療の先生が慢性疾患に漢方薬を投与した時、証が合っていれば2週間ほどで何かしらの改善徴候が感じられ、4週間で処方の方性の判断をされると言っておられました。今回、私と遠志エキスは全く証が合っていなかったと言えそうです。

さて添付文書通りに**効果が感じられない**という利用者さんが薬剤師に**相談**にきたら、**どう対応すれば良い**のでしょうか? →5)へ

### 3) そもそも「遠志」とはどういう生薬なのか

#### ①日本薬草全書(新日本法規)によれば

ヒメハギ科イトヒメハギの根の生薬名。**初心を呼び戻し志を遠きに持つ薬草**と言う意味で遠志と呼ばれるそうです。**呼び戻す**という所から**物忘れに良い影響**を与えそうな印象があります。薬理作

用としては鎮静、去痰、抗炎症、強壮薬として精神安定、神経衰弱、病後の不眠、動悸、気管支炎・喘息に応用されるとあります。漢方薬では加味帰脾湯や人参養栄湯の構成生薬になります。

## ②親農本草経解説(源草社)によれば

遠志は味は苦、温。咳逆、傷中を治す。不足を補い、邪気を除き、九竅(キュウキョウ※)を利し、智慧を益し、耳目を聡明にし、**忘れず**、志を強くし、力を倍す、**久しく服せば**、身を軽くし、**老いず**とあります。 ※九竅：人の体の9つの穴(両眼、両耳、両鼻腔、口、尿道、肛門)

## ③クラシエのホームページのアレデル顆粒の関連記事によれば

「漢方」では物忘れを、**認知機能**を含めた意識・精神活動を行っている「**心(シン)**」(五臓の一つ)の機能が低下したことが原因と考えます。現代医学で心臓を血液を送り出すポンプとしての働きがあると考えますが、漢方では「心理学」や「心境」という用語があるようにポンプとしての働きだけではなく、認知機能を含めた意識・精神活動を担っている所と考えるのです。

「心」の機能を保つのに重要なのが「**血(ケツ)**」であり、血が不足すると「心」が十分に滋養されず不調が現れます。加齢や虚弱体質、慢性疾患などで栄養が不足することで「**血**」の**不足**が生じ認知機能の一部である**記憶力の低下**が生じてしまうのです。

漢方では「**血**」の**不足から生じた物忘れ**には「**血**」を**補い**、精神を安定させること(養心安神)での治療を中心とし「心」を滋養して機能を正常にすることで改善していきます。このタイプは年齢とともに物忘れが生じるほかに不眠や気力がなくなったりするなどの症状が生じることがあります。**遠志は「心」の栄養状態を改善**することから「心を安らかにし、智を益す(精神を安定させ、智慧を益す)」といわれています。精神を安定させる薬能などから物忘れの改善などに用いられました。

## ④まとめると

遠志は**昔から**心身の疲れを癒し、**加齢による物忘れに用いられてきた**という訳です。

## 4) 遠志エキスのEBM

最近薬の効果や治療法に**エビデンス**が求められる時代になっています。遠志エキスの加齢に伴う物忘れへのエビデンスにはどのようなものがあるのでしょうか？文献検索をしたところ動物実験でアルツハイマーの原因物質であるアミロイドβ濃度を下げたとかいうものが1件見つかっただけで物忘れに関する報告は分かりませんでした。

そこでアレデル顆粒を販売しているクラシエの担当者に**物忘れの抑制に関する臨床データ**(たとえば物を思い出すのにかかる時間の短縮など)があるかを問い合わせたところ**臨床試験データは「無い」**とのことでした。

どうやら遠志は「**昔から**心身の疲れを癒し、**加齢による物忘れに用いられてきた**」という**経験的な判断**から第三類医薬品として認可されたようなのです。

これでは健康食品などのコマーシャルで良く見かける「**あくまで個人の感想です**」と大差のない話になってしまいます。

前頁表から1日量の遠志エキス含有量が製品によって**2倍以上**も異なっている点からも、この製品は本当に有用なのだろうか疑ってしまいます。さらに遠志エキス剤が属する第三類医薬品全体に対しても「あくまでも個人の感想」レベルのエビデンスしかないのではないかと考えてしまうのは私だけでしょうか・・・

## 5) 遠志エキスに効果がないと訴えてきた利用者さんへの対応

何事も早期の対応が一番と考えるならば、認知症の可能性も視野に入れて認知症外来の受診勧奨になるでしょうか。(終わり)